

令和6年3月31日

久留米市議会議長 様

久留米市城南町15番地3

会派名 緑水会議員団

代表者名 原口 和人

政務活動費事業実績報告書

久留米市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

- 1 事業の完了年月日 令和6年3月31日（令和5年度分）
- 2 事業実績の概要
 - ・国内行政視察
 - 1/31 静岡県熱海市
 - 2/1 神奈川県大和市
 - ・調査研究費
 - 交通費
 - ・事務費
 - タブレット端末通信費用、パソコン購入費用、インク代
 - デジカメ購入費用、ICレコーダー購入費用、SDカード購入費用
 - ・広報費
 - 会派ホームページ作成費用

視 察 報 告 書

令和 6 年 3 月 2 5 日

会派名 緑水会議員団
代表者 原口 和人 様

会派名 緑水会議員団
報告者 吉武 憲治

政務活動のため視察調査を実施したので、その概要を報告いたします。

実施年月日	令和 6 年 1 月 3 1 日
視 察 地	静岡県熱海市
参加議員名	佐藤晶二、森崎巨樹、吉武憲治 計 3 名
視察項目	観光施策、熱海リノベーションまちづくり
視察の目的	人口交流増加の行政の仕掛けに関する調査研究のため
当該視察地を選定した理由	熱海市の観光施策と熱海リノベーションまちづくり構想を通して、地域経済の活性化を図る一連の活動などを調査研究するため
説明者	熱海市観光建設部 観光経済課 産業振興室長 芹沢元一様 熱海市役所 議会事務局総務室 主幹 眞野 聡様 熱海市議会事務局 事務局長 鈴木 肇様
説明内容	<p>熱海市の概要について</p> <p>1. 沿革</p> <p>江戸時代に、多くの大名が訪れ湯治場として発展。明治・大正期には、政財界の要人や文豪が訪れて保養地として発展、別荘が相次いで建てられる。</p> <p>昭和・平成期には、昭和 8 年、丹奈トンネル開通し、名古屋・大阪方面との結びつきが強くなっていく。</p> <p>昭和 39 年、東海道新幹線開業、高度成長期と重なり観光客が大幅に増加、ホテル・旅館の新改築が進み鉄筋コンクリート高層建築が増える。バブル期到来、リゾートマンションの建設ラッシュとなるが、やがて、バブル経済崩壊と旅行形態の変化、社員旅行などの団体旅行から個人・小グループ旅行となり、観光客が減少、旅館・ホテルの休廃業が増えた。</p> <p>2. 市政・人口</p> <p>市政施行日、昭和 12 年 4 月 10 日</p> <p>人口の長期的推移を見ると、①大正 9 年 1.3 万人、②ピーク昭和 40 年 5.4 万人、③令和 5 年 3.4 万人、④令和 27 年には、推計 2.1 万人（人口問題研究所による推計）と予想されている。</p> <p>観光宿泊客数のピークは、昭和 44 年 532 万人、その後平成 23 年まではほぼ一貫して減少し、東日本大震災に伴う計画停電や自粛ムードの高まりで、当時過去最低の 236 万人を記録した。</p> <p>平成 23 年に底を打ち、以降は増加傾向であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 3 年に過去最少の 153 万人を記録したが、令和 4 年には 229 万人と増え始めた。</p>

3. 財政その他

- ①歳入に占める市税の割合が高く、中でも固定資産税の割合が高い。
- ②地方交付税制度が始まったS29年からH20年までは普通地方交付税の不交付団体であった。
- ③全国で唯一の「別荘等所有税」を課税（法定外普通税）

◎熱海市の観光施策について

観光経済課の主要事業として、観光ブランド・プロモーション、観光基本計画の策定・熱海型別荘コンシェルジュ、熱海型DMO推進事業に取り組んでいる。

もう一度行ってみたいという人気温泉地ランキングで、上位に位置しているため、日帰り客の往訪には力を入れている。

◎熱海リノベーションまちづくり構想について

観光産業の廃業と高齢化により、廃屋・空き店舗・空地の増加が目立つようになっている。

そこで、地域資源（観光、農林水産、遊休不動産等）を今一度見つめ直し、ヒト、モノ・コトが動き出す仕掛けづくりを官民一緒に模索している。

現在、行政、金融機関、商工会議所等、関係機関による創業支援体制を構築し、伴走型支援と情報発信により、新事業・産業が次々に誕生しつつある。

熱 海 市 役 所



<p>質 疑 応 答</p>	<p>◎視察受け入れのお礼と福岡県久留米市の概観について説明を行う。</p> <p>その後、熱海市観光建設部 観光経済課 産業振興室長 芹沢元一様より、熱海市の概要、観光施策等について説明を受け、質疑応答となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱海市の現在の観光状況はどのような状態にあるか。 観光宿泊客数が、東日本大震災と新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に激減した。かつては熱海は新婚旅行や団体旅行のメッカとなっていた。 現在はコロナ禍前の7割まで宿泊客数も回復しつつある。 ・産業別就業人口についてお伺いしたい。 第一次産業である農林水産従事者が極端に少ない。熱海市の住民のほとんどが、何らかの形で観光に携わっている。8割以上がサービス業に従事している。 また、どこも一緒だと思うが、熱海市も高齢化が進んでいる。 ・熱海市も空き店舗が課題のようだが、久留米市も同じ課題を抱えているが、何か対策は考えているのか 平成22年から25年までは、空き店舗活用事業補助金を設けて、市内業者が行う内外装工事に要する、対象経費の3分の1、最大40万円まで補助した。13件の実績がある。 また、銀座通り商店街の空き店舗が22%なので、この場所を起点としたリノベーションまちづくりが現在進行中である。 空き物件対策であるが、本質的には、入居者（テナント）よりも所有者（オーナー）の問題であり、入居支援などの空き店舗対策は対処療法に過ぎない。 経営の成り立つ、採算の成り立つ活用でなければ、本質的解決にはならない。 採算を成立させるには、初期投資、固定費の低減が必須であり、同時に、採算を成立させる売り上げを確立しなければならない。 ・その他
<p>視察の成果と久留米市への期待される効果</p>	<p>熱海市が地域資源（観光、農林水産、遊休不動産等）の再発掘に力を入れているのが、理解できた。</p> <p>久留米市も行政、金融機関、商工会議所等の関係機関が連携しながら再発掘への支援体制の構築が必要である。民間主導・地域主導のプロジェクトの推進が重要だと考えるが、行政側の支援は、補助金も必要だが、いわゆる伴走型支援と情報発信は特に大切ではなかろうかと思われる。</p> <p>久留米市は、温泉保養地である熱海市ほどの観光客数を望めないのは致し方ないが、くめ市の魅力の発掘探求と、観光イベントの拡大や、ふるさと大使の有効活用、そしてSNSなどによる頻繁な情報発信が、これからの久留米市の発展に繋がっていくものと考えている。</p>

視 察 報 告 書

令和6年3月25日

会派名 緑水会議員団
代表者 原口 和人 様

会派名 緑水会議員団
報告者 吉武 憲治

政務活動のため視察調査を実施したので、その概要を報告いたします。

実施年月日	令和6年2月1日
視 察 地	神奈川県大和市
参加議員名	佐藤晶二、森崎巨樹、吉武憲治 計3名
視察項目	大和市文化創造拠点シリウスの指定管理について
視察の目的	シリウスの指定管理による運営状況に関する調査研究のため
当該視察地を選定した理由	大和市文化創造拠点シリウスの指定管理者制度は全国地方自治体の中でも注目されており、今後の久留米市の指定管理者制度の参考にするため
説明者	大和市文化スポーツ部図書・学び交流課 参事兼課長 仲丸信孝 様 大和市文化創造拠点シリウス 指定管理者やまとみらい統括責任者 片山鑛藏 様
説明内容	<p>神奈川県大和市の SiRiUS（シリウス）の概要について</p> <p>大和駅東側第4地区公益施設である大和市文化創造拠点シリウスは、少子高齢化の時代に対応して駅の至近に複数の機能を融合させた、新しいタイプの公共施設である。</p> <p>大和市文化創造拠点の愛称はシリウスと言い、シリウスはおおいぬ座を代表する、地球から見える恒星の中で最も明るい一等星である。そこで、夜空のどの星よりも明るく輝くこの星の名は、「文化創造拠点が未来にわたって光り輝き、市民に愛される施設となるように」という想いを込めて名付けられた。</p> <p>大和市文化創造拠点シリウスは、図書館、芸術文化ホール、障害学習センター、屋内こども広場を中心とした文化複合施設となっている。</p> <p style="text-align: center;">＜大和市文化創造拠点シリウス館内状況＞</p> <p>1F 感動が生まれる 感性と創造の場（利用時間：9時～22時） メインホール、サブホール、ギャラリー、総合案内、図書館、授乳室、カフェ、放送スタジオ</p> <p>2F 楽しく語り合う市民交流のフロア（利用時間：9時～22時 ※日・祝日は20時） 市民交流ラウンジ、図書館、大和市役所大和連絡所、大和市イベント観光協会、コインロッカー</p> <p>3F 思い切り遊んで学ぶ大和こどもの国（利用時間：9時～19時 ※スタジオのみ21時30分まで） げんきっこ広場、ちびっこ広場、保育室、相談室、多目的室、赤ちゃんの駅（授乳室・オムツ替え室）、こども図書館、こども読書室、おはなしのへや、こどもシアターブース、スタジオ、マルチスペース</p> <p>4F くつろぎながら本に親しむ 健康都市図書館（利用時間：9時～21時 ※日・祝</p>

日は 20 時まで)

健康コーナー、健康テラス、健康度見える化コーナー、メインカウンター、予約本コーナー、ティーンズコーナー、まんが・新聞・雑誌コーナー、シアターブース、ロボットコーナー、読書テラス

5 F 調べて学ぶ図書館 (利用時間：9 時～21 時 ※日・祝日は 20 時まで)

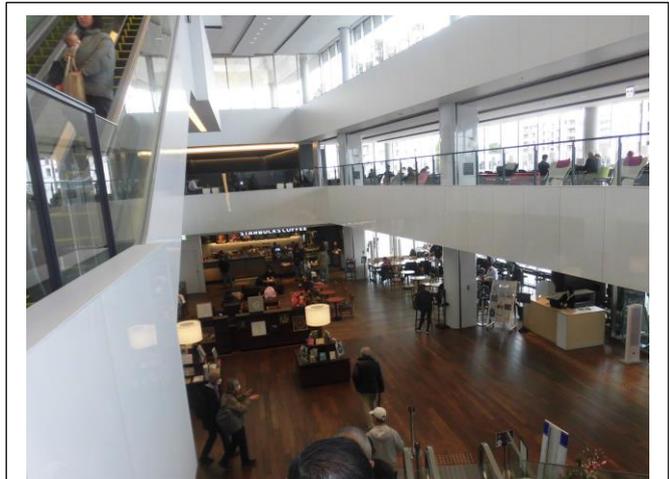
レファレンスカウンター、情報検索コーナー、地域資料コーナー、読書室、展示図書室、対面朗読室

6 F 仲間と集い学ぶ 生涯学習センター (利用時間：9 時～21 時 30 分)

市民交流スペースぶらっと大和、講習室、大会議室、中会議室、小会議室、和室、勝利実習室・会議室、文化創造室・会議室、印刷室、大和市役所図書・学び交流課

地下 1 F 駐車場・駐輪場

SiRiUS 大和市文化創造拠点



<p>質 疑 応 答</p>	<p>◎ 視察受け入れのお礼と、福岡県久留米市の概観について説明を行う。</p> <p>その後、大和市文化スポーツ部図書・学び交流課参事兼課長仲丸信孝様のご挨拶と大和市文化創造拠点シリウス指定管理者やまとみらい統括責任者の片山鑛藏様から館内の説明を受け、質疑応答後に館内見学を行う。</p> <p>◎ 大和市文化創造拠点シリウスの建設経緯についてお伺いしたい。</p> <p>この計画は、大和市の公益施設基本計画（平成24年2月）に基づき、子どもから高齢者まで地域や国籍を超えて訪れられる施設建設のために、平成24年度から基本設計、各施設の運営・事業計画の策定、条例の制定、指定管理者の公募、選定等を行い、平成27年度にシリウスが竣工した。</p> <p>◎ シリウスの運営体制はどのようになっているのかお伺いしたい。</p> <p>大和市の文化創造拠点として、芸術文化ホール、図書館、生涯学習センター、屋内こども広場等の個々の施設が、融合したひとつの施設としての管理運営を実現するため、従来の公共施設の運営形態にこだわることなく、施設全体を一体的に運営している。</p> <p>そのために、多様な利用者ニーズに応えながら、コストとのバランスを重視した効率的な運営を行うために、専門性や独創性、柔軟性など、民間の持つノウハウを積極的に活用している。民間が独自の視点を入れながら力を発揮できる指定管理者制度の導入を基本としている。</p> <p>◎ 行政と指定管理者の役割分担についてもお聞きしたい。</p> <p>各施設の維持管理業務を除いて、業務の大部分を指定管理者が担い、行政は運営のチェック、施設の進行管理のほか、市民とともに継続して取り組む事業など、民間に委ねることが難しい事業を行っている。</p> <p>・その他</p>
<p>視察の成果と久留米市への期待される効果</p>	<p>今回の視察では、大和市文化創造拠点シリウスが、融合したひとつの施設として、活発的運営がなされていることに強い感銘を受けたのが実感である。</p> <p>また、大和市民のシリウスへの来館者を見ていると、市民の活動拠点は、シリウスが中心となっているようで、非常に心地良い雰囲気があった。</p> <p>指定管理者については、各施設に関して専門的なノウハウを持つ企業などで構成された共同体を指定管理者として選定し、公益施設全体を横断的、一体的に管理運営していることから、この先進的な取組みは、久留米市も是非参考にすべきと考える。</p> <p>久留米シティプラザも、指定管理者制度の導入を検討すべき時期に来ているような気がしてならない。</p>